

2024年度重要課題・個別課題のレビュー/アクション				
重要課題	目指すべき姿	個別課題	2025年目標	2024年進捗 アクション/レビュー
事業競争力向上と ビジネス強靱化 	「創って」「作って」「届ける」を叶える「強靱な体制」を構築し、中長期にわたり企業価値を拡大し、なくてはならない会社となる	赤ちゃんの授乳支援	・世界中の赤ちゃんの授乳支援を通じて「哺乳器・授乳関連商品」を拡大	・（日本）口唇裂・口蓋裂や疾患などで直接授乳や人工乳首での哺乳が困難な赤ちゃんのための哺乳器（細口哺乳器）「ロングフィーダー」を発売した。すべての赤ちゃんの栄養摂取の手助けをするために研究・開発を深耕している。 ・（シンガポール）広口哺乳器「SofTouch™」シリーズのリブランディングをインドネシア、中東、シンガポールから実施した。
		赤ちゃんの健やかな肌づくり支援	・赤ちゃんの健やかな肌づくり支援を通じて「スキンケア商品」を拡大	・（日本・中国）赤ちゃんの肌に特化した基礎研究に基づく知見や技術を活かし、商品化・量産化に向けた研究・開発を深耕している。 ・（中国）「ラクトフェリンスペシャルケアシリーズ」を発売した。 ・（シンガポール）「ナチュラル・ボタニカル・ベビー」シリーズの販売を強化した。
		新ビジネス創造	・事業を拡大するための、新たなビジネスの創造 ・新規領域の売上高100億円以上	・新規領域の売上高が80億円を超えた。 ・（日本）新規領域である育児家電の商品を拡充するため、新商品「ベビー電動つめやすり」の発売した。 ・（中国・シンガポール）高月齢向け商品（エイジアップ）を強化した。 ・（ランシノ）産前・産後ケアなどの女性ケア商品の販売が伸長している。
		お客様の期待を超える商品上市		
		強靱な商品供給体制の構築	・世界の育児を支援するため、「強靱な商品供給体制」を確立	・（日本）主要得意先との共同輸送やパッケージ仕様の見直しによる積載効率の向上、新規物流センター開設を含む物流拠点再編などの施策により、安定的な配送体制の構築に取り組んだ。
重要課題	目指すべき姿	個別課題	2030年目標	2024年進捗 アクション/レビュー
環境負荷軽減 	明日生まれる赤ちゃんの未来に豊かな地球を残すため、脱炭素・循環型・自然共生社会を目指した「Pigeon Green Action Plan」の実行	温室効果ガス排出量削減（Scope 1・2・3）	・ Scope1&2 GHG排出量70%削減（2018年度比総量目標） ・ Scope3 Category1 & 12GHG排出量削減25%削減（2021年度比総量目標）	・ Scope1&2 GHG排出量9,958t-CO2e、63% 削減(2018年度比総量目標) ・ Scope3GHG排出量2024年度 算定中 ・ 2024年12月、SBTイニシアティブにコミットメントレターを提出した。 ・ 2025年4月、ビジョングループ温室効果ガス(GHG)排出量削減目標のうち、2030年のGHG排出量削減目標が科学的な根拠に基づいたSBT目標としてSBTイニシアティブに認定された。
		循環型ものづくり	・植物由来または再生素材を使用したパッケージ50%（重量比） ・リユース／リサイクル／コンポスト可能なパッケージ100%	・ 46%（重量比） ・ 84%（SKU数比）
		持続可能な資源（紙・パーム油）の使用	・パッケージにおける持続可能な紙の使用率100%	・ 67%（SKU数比）
			・自社生産のスキンケア／洗たく／洗浄消毒商品におけるRSPO認証パーム油の使用率100%（B&C方式を含む）	・ 11%
重要課題	目指すべき姿	個別課題	2025年目標	2024年進捗 アクション/レビュー
社会課題への貢献 	赤ちゃんをご家族を取り巻く社会課題の解決に貢献	支援が必要な赤ちゃんへの新商品・サービス	・ NICUに入院する等の専門的な支援が必要な赤ちゃんをご家族を取り巻く課題を解決する新規商品・サービスの創出 ・ NICUに入院する等の専門的な支援が必要な赤ちゃんをご家族を取り巻く課題	・（日本）2024年5月、ビジョン本社1階の「日本橋 母乳バンク」の全面リニューアルを行い、母乳の低温殺菌を行う処置室の面積を従来の約2倍に拡大した。 ・（インドネシア）インドネシア最大の国立病院RSCMにおける同国初の母乳バンク設立を支援し、2024年12月にオープニングセレモニーを開催した。 ・(中国・シンガポール) 中国、シンガポール、インドネシア、タイ、マレーシアなど、世界各地で口唇裂・口蓋裂の赤ちゃんを支援する活動を実施した。 ・世界各国で医療従事者向けセミナーを開催した。
		病産院向け商品の使用拡大	・病産院向け商品の改良、使用拡大	・（日本）口唇裂・口蓋裂や疾患などで直接授乳や人工乳首での哺乳が困難な赤ちゃんのための哺乳器（細口哺乳器）をリニューアルした「ロングフィーダー」を2024年に発売した。 ・（インド）インドで伝統的に使われている金属製の新生児用授乳器（パラダイカップ）をもとに、衛生性、耐久性など使い勝手の良さを追求した100%シリコン製の「Paladai Baby Feeder」を開発し、2025年に発売した。 ・世界各国で医療従事者向けセミナーを開催した。
		責任ある調達	・サプライヤーと連携した責任ある調達（人権・労働・環境）の推進 ・ CSR調達アセスメントの実施 ・ 人権デュー・ディリジェンスの実施	・ CSR調達方針・ガイドラインを改訂し、9か国語に翻訳してWEBサイトに開示した。 ・ 持続可能なパーム油調達方針を策定した。 ・ CSR調達アセスメント2024を実施した。対象563社のうち、回答は480社（回答率は85.3%）であった。 ・ 国連グローバル・コンパクト2024CoP（Communication On Progress）に回答した。
		コミュニティへの参画・支援	・さまざまな社会貢献活動の実施	・世界各国で植樹活動およびボランティア活動を実施した。 「わたしたちの活動」について詳しくは下記をご覧ください。 http://staging.pigeon.co.jp/sustainability/activity/
重要課題	目指すべき姿	個別課題	2025年目標	2024年進捗 アクション/レビュー
存在意義実現のための 人材・組織風土 	「Pigeon Way」や「存在意義」に共感し、会社、組織、仕事に対して「誇り」と「自発的な貢献意欲」を持ち、多様な人材が自分らしく挑戦し成長できる組織風土を醸成	自己実現と成長できる働きがいのある会社	・従業員が会社の方向性に共感し主体的に仕事に取り組む「働きがいのある会社」となるための施策の実施 ・従業員エンゲージメント調査のスコアアップ	・ Pigeon Frontier Awards 2022から誕生した『My Purpose Project』の活動の一環として、ビジョン株式会社、ビジョンヒラの全社員に対してエンゲージメントカードのワークショップを実施した。 『My Purpose Project』を中国BU、シンガポールBUにも拡大した。 ・赤ちゃんにやさしい未来像、6つの社会の姿の実現に向けた活動事例をコーポレートサイトに掲載した。詳しくは下記をご覧ください。 http://staging.pigeon.co.jp/vision-of-a-baby-friendly-future/ ・ビジョン株式会社、PIGEON（SHANGHAI）CO.,LTD.PIGEON SINGAPORE PTE.LTD.にて従業員エンゲージメント調査実施し、2024年のエンゲージメントスコアは4.15であった。
		挑戦できる組織風土	・従業員一人ひとりが自分の強みを発揮し、事業拡大に向けた「挑戦する組織風土」の醸成 ・（日本）PFA [®] の実施 [※] 社員の挑戦を応援するPigeon Frontier Awards（PFA）	・（日本）失敗を恐れず未来に向けて挑戦することを応援・表彰するPigeon Frontier Awards（PFA）を実施。アイデア応募件数は13件、採用件数は6件であった。
		人材への投資拡大	・人材育成への投資額を拡大し、外部環境の変化に対応できる高い専門性を備えた人材が増加する施策の実行 ・人材育成方針・社内環境整備方針策定	・（ビジョングループ）知識、スキル、能力向上の研修に参加した延べ従業員数6,778人、延べ時間50,563時間。従業員1人あたりの研修時間16時間であった。
		ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョン推進	・従業員が多様性を理解し、受容できる職場環境づくりを推進し、社員一人ひとりが自分らしく働ける施策の実行 ・（日本-ビジョン本社）女性管理職比率30% ・（日本-ビジョン本社）男性の育児休業取得率100%維持	・ 2024年5月人権方針を策定し、9か国語に翻訳してWEBサイトに開示した。 ・（日本-ビジョン本社）女性管理職比率：26.4% ・（日本-ビジョン本社）男性の育児休業：取得率133% [※] 、平均取得日数36日 ※厚生労働省の計算式に基づく期中での取得率
重要課題	目指すべき姿	個別課題	2025年目標	2024年進捗 アクション/レビュー
強固な経営基盤の構築 	中長期的な企業価値向上のためのGHO / 4 SBU体制の強化と積極果敢に挑戦できるコーポレート・ガバナンス体制の充実	グループガバナンス強化	・キャッシュフロー経営推進 CCC（Cash Conversion）の改善	・ 2024年に確認した当社グループ子会社元従業員による不適切取引においては、調査結果を真摯に受け止め、原因分析を通じて当社が取り組むべき再発防止策を検討し、取締役会において再発防止策を決議した。 ・ CCC:116.1日（2024年12月実績）
		コンプライアンス強化	・ 2023年実施のコンプライアンスモニタリング結果を踏まえた改善策の推進 ・ グループ本社におけるコンプライアンス研修の実施	・ グループ本社におけるコンプライアンスモニタリングの実施および実施結果を踏まえた改善策の検討 ・ グループ本社におけるコンプライアンス研修の検討・実施 詳しくは下記をご覧ください。 http://staging.pigeon.co.jp/sustainability/governance_top/compliance/#headline-1714549221
		リスクマネジメント強化	・ GHOリスクマネジメント委員会 年1回以上開催 ・ 全社リスクアセスメント実施（毎年）	・ GHOリスクマネジメント委員会を2回開催した。 ・ 全社リスクアセスメント2024を実施した。
		ステークホルダーとの対話	・ 企業価値向上のための資本市場との対話とPVAの回復・成長	・ 個人投資家向けイベントやアナリスト主催のイベントに参加し、事業戦略や新商品の説明などを行った。 ・ 機関投資家とのIRミーティング：対応件数310件（2024年12月期）